

本紙を発行者の許可なく掲載内容の一部及び全てを複製、転載、送信、印刷等、第三者の利用に窮する事を禁止します。

キャリア学習「夢を叶えるのは心次第」「世界で一番の強敵は自分の心」

社会人講話 (中学校)



お二人の講師をお招きし、夢-実現に向けての講話を頂きました。

職業人講話 (小学校)



昨年度まで実施していた「職場見学」が、彩橋小と合同で職業人講話をお聞きし、学んだことをまとめ発表する学習へと変わりました。

ネットにすてきな足跡を残す？ 一生の恥を残す？

ネットトラブル防止教室



あ 会わない (ネットで知り合った人と)
と 揺らない (人に見られて恥ずかしい写真)
が 画像を勝手に送らない
こ 個人情報やネットに載せない
わ 悪口を書き込まない
い いじめない

うるま署の方の実例を含めた講話に真剣な表情で聴き入る子どもたちでした。



参観者の中にはハンカチで目頭を押さえる方も...

夜遅くまで「語り」の練習 語る言葉を丁寧に吟味。

戦争当時、この津堅島は日本軍の基地が建設された。アメリカ軍の攻撃を受けた。ハワイ出身の日系三世で通訳だった坪田輝人さん。戦後、その坪田さんと津堅島が再会をし、島の皆さんが感謝の気持ちを伝えることができたという実話を語り継いでいこうと、東松根信子さん、宮城千賀子さんが中心となって、平和を語り継ぐ紙芝居を昨年度末から制作。そしてこのほど子どもたちやこの家ご利用の方々に向けて読み語りをして下さいました。大作です。次の機会には是非より多くの方々に見ていただきたいと思いますように。



戦争当時、この津堅島は日本軍の基地が建設された。アメリカ軍の攻撃を受けた。ハワイ出身の日系三世で通訳だった坪田輝人さん。戦後、その坪田さんと津堅島が再会をし、島の皆さんが感謝の気持ちを伝えることができたという実話を語り継いでいこうと、東松根信子さん、宮城千賀子さんが中心となって、平和を語り継ぐ紙芝居を昨年度末から制作。そしてこのほど子どもたちやこの家ご利用の方々に向けて読み語りをして下さいました。大作です。次の機会には是非より多くの方々に見ていただきたいと思いますように。

心温まる話④

六月三十日は本校の創立記念日。百周年記念誌「東海」を讀んでいくと、本校の歴史について、次のようなことが記されています。

昭和二十九年校舎はコンクリート時代を迎える。津堅校でも琉球政府の支出により建設されることになった。しかし、工事単価は本島と同じ。予算のかさむへき地での建設は、採算はおろか赤字になるのは明らかで、この業者も請け負って欲しかった。学級増も必至であった津堅校。津堅区代表と後援会代表は、次の条件を出し、業者と折衝した。

- 一、鉄筋・セメント・コンクリートブロック等の建築資材の一切を荷揚げすること
- 二、砂・バラス・べり石の必要量を提供すること
- 三、コンクリート打ちの労務を提供すること

この三つを、島の皆さんが一切無償提供すると提案したそうです。そして、業者が決まり工事が始まります。島の皆さんは...

一、資材がシナハ浜に着くと、親子ラジオから協力の呼びかけが流れて、割り当てられた班の方々が出かけて行き資材を荷揚げした

二、各家庭では、割り当てられた量の砂を浜から運んだり、石垣や山野から集めた石をハンマーで割りバラスを作り、一斗缶に詰めて所定量を供出した

三、コンクリート打ちになると、男性はスコップ持参でコンクリートの手練りや生コンのパケツリ作業の重労働で汗を流し、女性は溜池(現診療所地)から、コンクリート打ちが終わるまで水を運び続けた

子どもの教育のため、地域がそれぞれ自身を削っての積極的支援を行ったのだそうです。(百周年記念誌「東海」記載)

本校二九代校長、島出身の玉城輝彦先生は「〇〇周年の祝辞で次のように述べられています。

「当時、衣食住の最低限度の生活さえ意識のままにならない情不安定な状況の中にあつて、先達の英知と教育への情熱が島の人の心を揺さぶり、区民協会の校地造成、校舎建築等への奉仕作業が連日のように行われ、教育力向上の気運を盛り上げていただきました。」

津堅島の子もたちが通う津堅小中学校に、島の皆さんが寄せた思いの深さが、すっと受け継がれてきたことを強く感じ、心が熱くなりました。

島の皆さんで行ったこの偉業を子どもたちに伝えたいと、

「今、気持ちよく使っていることに感謝したい」「昔の人に感謝して、自信と誇りをもってこれからはがんばりたい」「学校があるのは、多くの人の努力の塊。これからは学校を大切にしたい」「学校にハッピーバスターを歌い、お祝いしてあげたい」と感想を寄せてくれました。また、ここでも心温かくなりました。

昨年度より、子どもたちの活躍と学校の様子を知って頂くために、学校便りを島の全世帯に配布させていただいています。印刷機器の都合で、見えづらいところもあるかと思いますが、「見ましたよ」「すごいね、子どもたち。」と話題にして下さっているとお伝え頂き嬉しく思っております。本紙のカラ版を、学校屋外掲示板をはじめ公民館・ターミナル・診療所・いこいの家に掲示させて頂いています。お立ち寄りの際はどうぞご覧ください。感謝。